


建築金物の信頼ブランド
オメガー印  **【中大規模対応<ストロング>筋かい耐力壁】**
中大規模対応筋かい<ストロング> 施工マニュアル
および中間横架材受け金物フラットボックスSD

保護手袋着用



注意

商品を取り出すとき、施工するときは、
切断面に触れると手を切る恐れがありますので注意してください。

ハウスプラス確認検査(株) 性能試験済み
HP19-ST022 (45×90mm 筋かい【1段】)
HP19-ST020 (90×90mm 筋かい【1段】)

(一財) 建材試験センター 性能試験済み
第19A1538号(45×90mm 筋かい【2段】)
第19A1539号(90×90mm 筋かい【2段】)

■使用上のご注意

中大規模対応筋かい<ストロング>の使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。
中大規模対応筋かい<ストロング>およびビスは指定の用途以外には使用しないでください。

柱および横架材、中間横架材の断面寸法は120×120mm以上で使用してください。
階高3,000～4,500mm【2段】施工時は、上段と下段の筋かいを逆配置としてください。(推奨)
ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

- ・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。
- ・ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。
- ・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
- ・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
- ・堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

筋かい<ストロング>：使用箇所・用途

(120角以上の)柱と筋かいの接合に使用します。
筋かいの断面は45×90mm以上、90×90mm以上の場合に
取付可能です。

筋かい<ストロング>：接合具

使用本数(18本)
〔柱………角ビットビス TB-76 (8本)〕
〔筋かい…角ビットビス TBA-45 (10本)〕

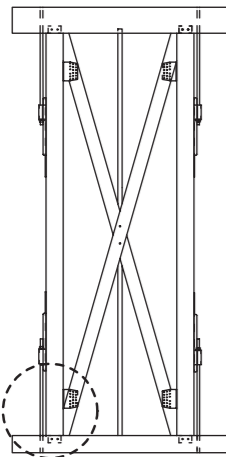
施工方法：階高3,000mm以下【1段】

1. 筋かいの中心線に対角に合わせて、筋かいの余分な箇所をカットしてください。
2. 中大規模対応筋かい<ストロング>を横架材または床合板の面から190mm以内の位置に合わせます。
3. 中大規模対応筋かい<ストロング>を専用角ビットビス TB-76(8本)と TBA-45(10本)でとめつけてください。
※専用角ビットビスは規定の本数を施工してください。

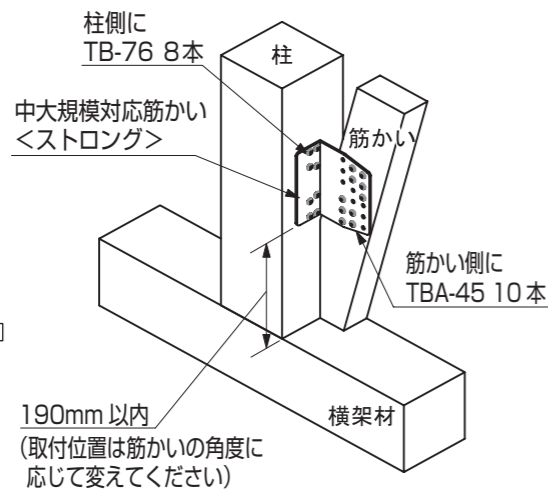
■取付図例

[階高3,000mm以下【1段】]

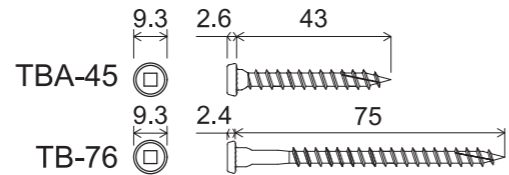
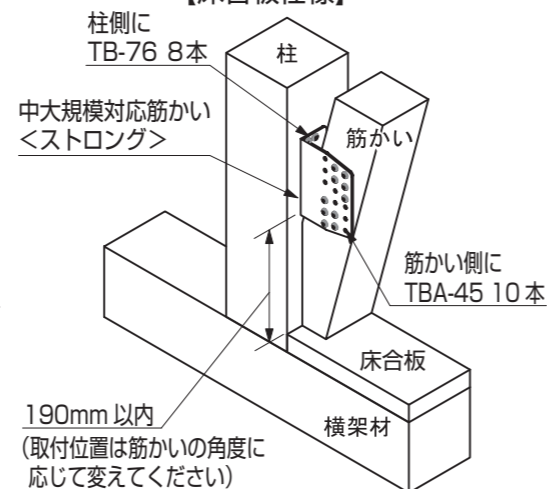
階高 3,000mm 以下
【1段】



[45×90mm(以上)の筋かい接合]



[90×90mm(以上)の筋かい接合]



フラットボックスSD：使用箇所・用途

階高 3,000～4,500mm【2段】の筋かい耐力壁に
(120角以上の)柱と中間横架材の接合に使用します。

フラットボックスSD：接合具

使用本数(10本)
〔柱………角ビットビス TBA-45 (6本)〕
〔中間横架材…角ビットビス TBA-45 (4本)〕

施工方法：階高3,000～4,500mm【2段】

【中間横架材受け金物フラットボックスSD】

1. 左右それぞれの柱に対し、中間横架材の上端となる位置に線を引きます。
2. フラットボックスSDの上端と柱の線を合わせて、柱側に角ビットビス TBA-45(6本)でとめつけてください。
3. 中間横架材をフラットボックスSDとの上端同士が揃うまでゆっくりとおろし、水平を確認してください。
4. 中間横架材側に角ビットビス TBA-45(4本)でとめつけてください。
※中間横架材は柱間内寸法より2mm(片側1mm)短くカットしてください。

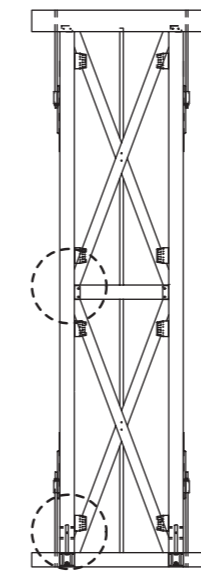
【中大規模対応筋かい<ストロング>】

1. 筋かいの中心線に対角に合わせて、筋かいの余分な箇所をカットしてください。
2. (90×90mm 筋かいの場合)筋かい位置は、柱の側面からそれぞれ10～20mm離してください。(NG例③参照)
3. 中大規模対応筋かい<ストロング>を横架材または床合板の面から180mm以内の位置に合わせます。
4. 中大規模対応筋かい<ストロング>を専用角ビットビス TB-76(8本)と TBA-45(10本)でとめつけてください。
※専用角ビットビスは規定の本数を施工してください。

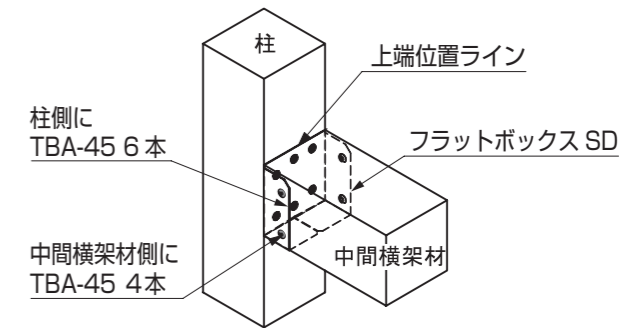
■取付図例

[階高3,000～4,500mm【2段】]

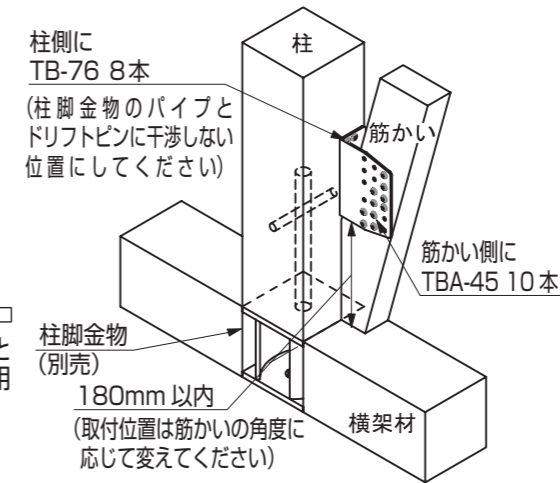
階高 3,000～4,500mm
【2段】



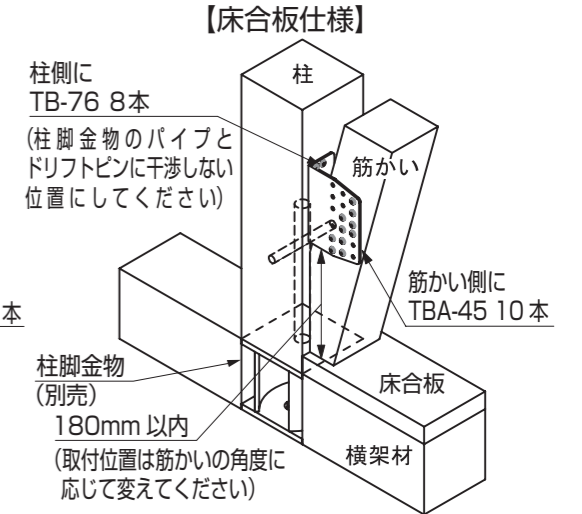
[柱と中間横架材の接合]



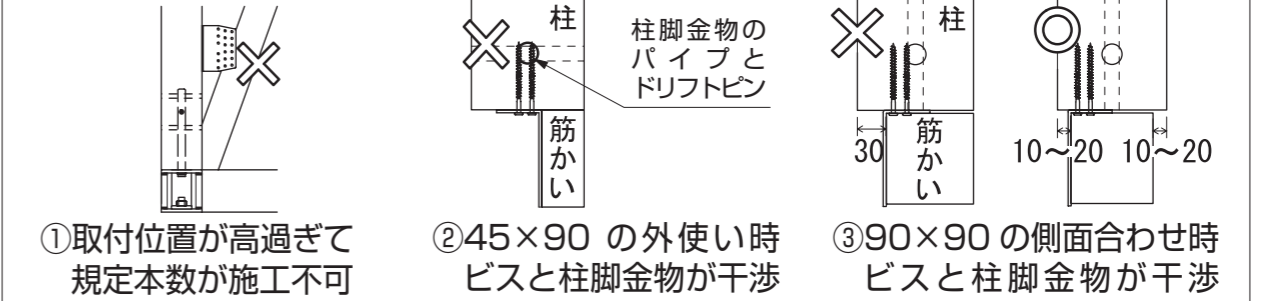
[45×90mm(以上)の筋かい接合]



[90×90mm(以上)の筋かい接合]



■NG例



- ① 取付位置が高過ぎて規定本数が施工不可
- ② 45×90 の外使い時ビスと柱脚金物が干渉
- ③ 90×90 の側面合わせ時ビスと柱脚金物が干渉

接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 タナカ

(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313
(受付時間) 平日 9:00-17:00
<https://www.tanakonet.co.jp/housing>

中大規模対応<ストロング>筋かい耐力壁(壁倍率4.0倍および5.0倍) 軸組図 例

(単位: mm)

階高3,000以下【1段】

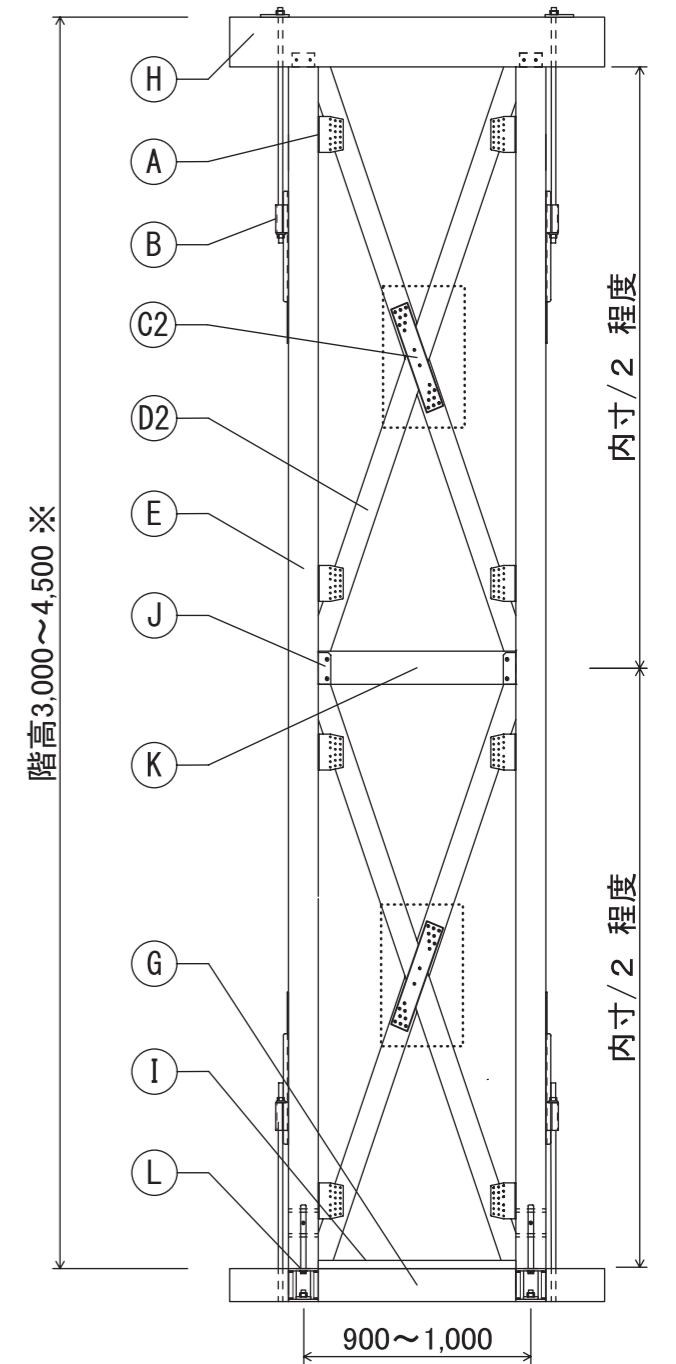
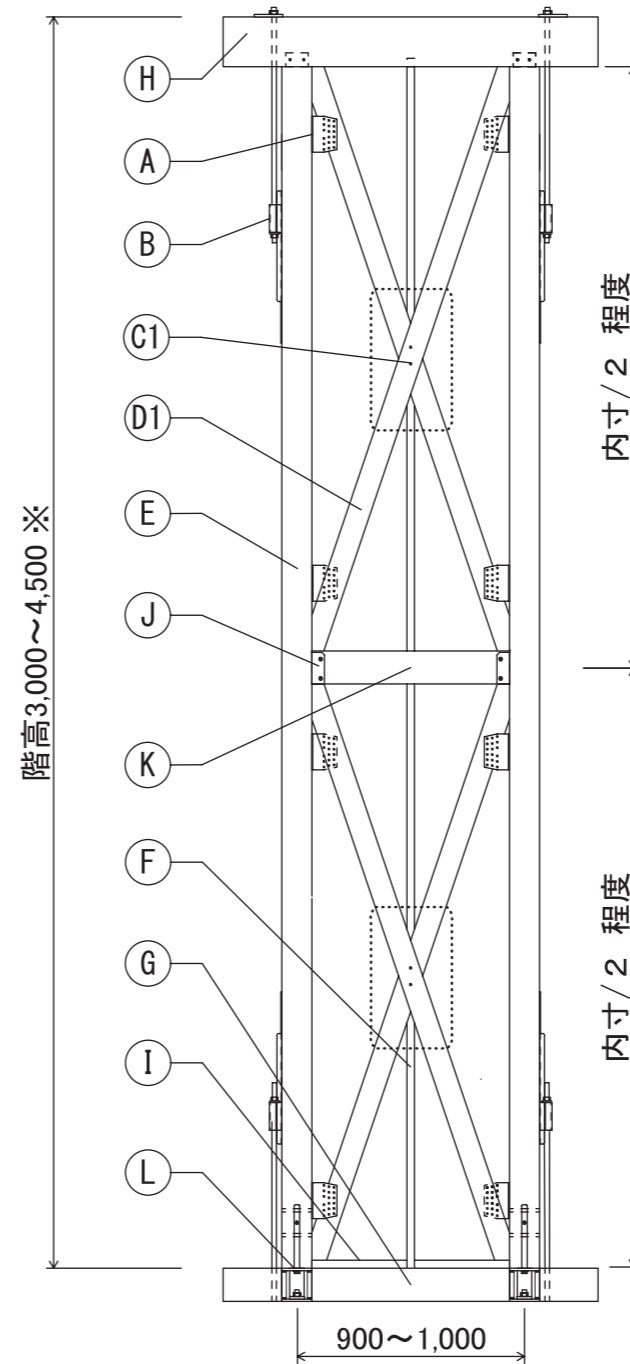
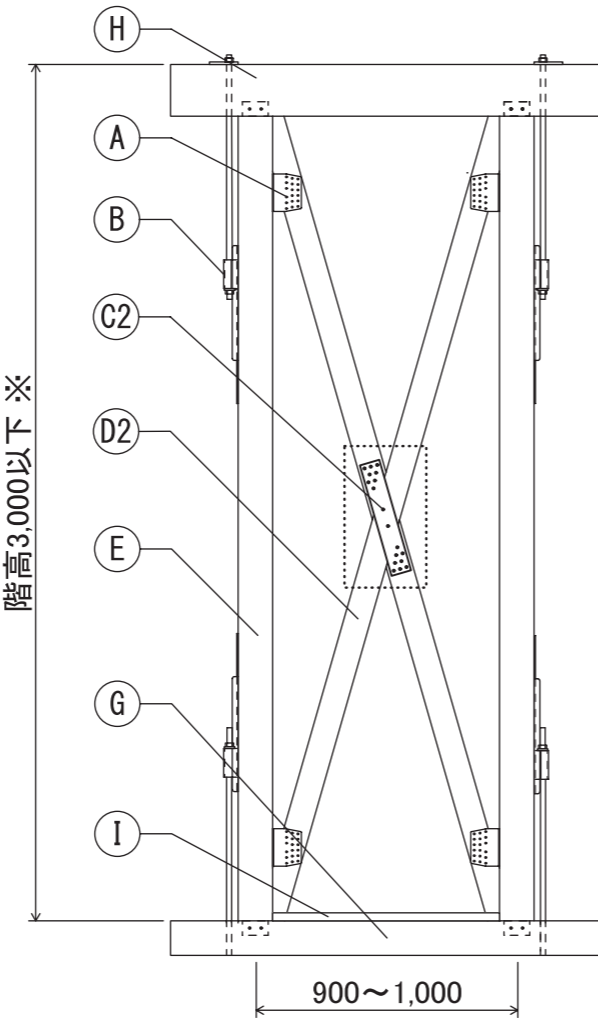
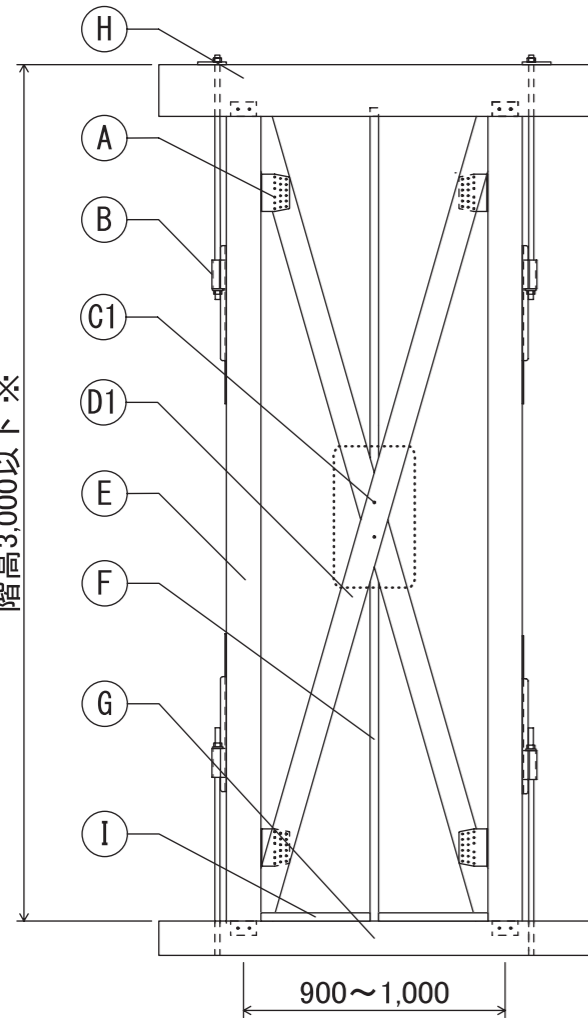
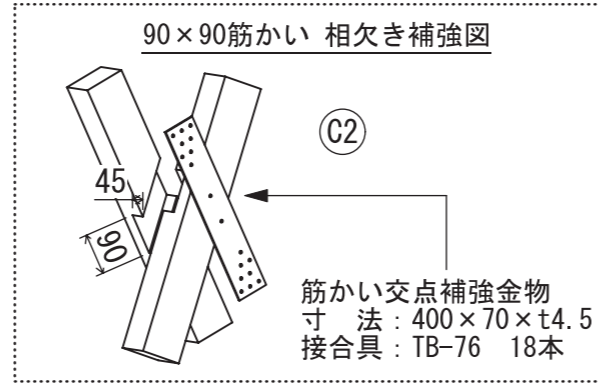
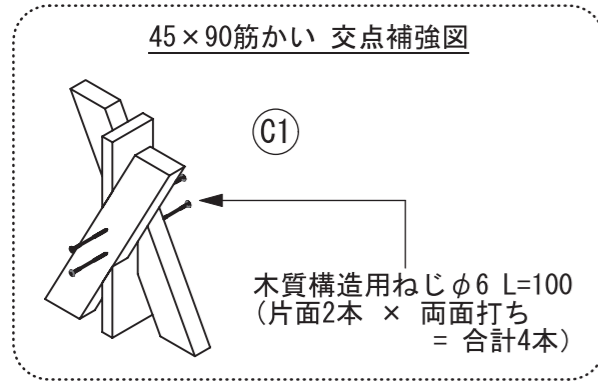
階高3,000~4,500【2段】

Aセット: 筋かい45×90 壁倍率4.0

Bセット: 筋かい90×90 壁倍率5.0

Cセット: 筋かい45×90 壁倍率4.0

Dセット: 筋かい90×90 壁倍率5.0



※「階高」を「横架材の芯々間距離」としても可

- A: 筋かい金物 中大規模対応筋かい<ストロング>(タナカ)
- B: 柱頭・柱脚金物 (計算によって求めた必要な耐力を有する金物)
- C1: 木質構造用ねじφ6、L100(片面2本×両面打ち) 例: パネリードII(シネジック(株))
- C2: 筋かい交点補強金物(片面1枚)(タナカ)
- D1: 筋かい 45×90以上、E70相当以上のヤング係数 かつ 節・目切れの少ない材
- D2: // 90×90以上、E65以上のヤング係数 かつ 節・目切れの少ない材
- E: 柱 120×120以上、E65以上のヤング係数を有する材
- F: 間柱 30×120以上
- G: 土台 120×120以上、樹種はスギ、スプルス等、比重の低いものを除く
- H: 横架材 120×180以上、かつ地震時の応力負担が可能な断面寸法
- I: 床合板 厚さ30以下、省略可能

- J: 中間横架材受け金物 フラットボックスSD(タナカ)
- K: 中間横架材 120×120、E65以上のヤング係数を有する材
- L: 柱脚金物 柱-基礎直結型 例: CKB120(タナカ)